

令和7年9月1日

愛媛大学

第48回放送県民大学「現代教養講座」受講者を募集

愛媛県生涯学習センターと愛媛大学が主催し、愛媛県民の皆様を対象に、豊かな教養と創造力を培っていただくため、放送県民大学「現代教養講座」を下記の県下3会場で開催します。

会場ごとに計3回、本学の教員等による講義とテーマごとの映像と、その関連映像をご覧いただき、知識を深めていただくものです。受講者を募集しておりますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

■中予会場(松山市) 愛媛県生涯学習センター 開講時間 10:00~12:00/定員:各100名		
10月19日(日)	知られざるジョージア 〜ワイン・金属・シルクロードの交差点〜	愛媛大学法文学部 准教授 笹田 朋孝
11月9日(日)	ルーマニアの歴史と文化 ー日本とルーマニアの交流の意義ー	松山しのめ認定こども園 保育教諭 チェアウシュ・ジョルジエツタ
12月14日(日)	放送100年の歴史と功罪	元愛媛大学 客員教授 木藤 隆雄
■東予会場(新居浜市) 愛媛県総合科学博物館 開講時間 13:30~15:30/定員:各60名		
9月7日(日)	記紀で読む日本神話	元愛媛大学国際連携推進機構 非常勤講師 村尾 恵一
10月26日(日)	異国で学びそして思ったこと ー韓国と日本の交流を通してー	松山市包括支援センター湯築・桑 原・道後 社会福祉士 金(岩城) 恩恵
12月7日(日)	「満州国」の日本語教育ー抵抗する教師たちー	愛媛大学国際連携推進機構 准教授 伊月 知子
■南予会場(宇和島市) 宇和島市立コスモスホール三間 開講時間 13:30~15:30/定員:各40名		
9月27日(土)	外国人とともに暮らしやすい社会にしていくために	東京大学 名誉教授 向井 留実子
10月4日(土)	現代中国社会と現状について	愛媛大学国際連携推進機構 教授 陳 捷
11月8日(土)	鶴の鳴く夜は恐ろしい? ー怪鳥・鶴とはー	愛媛大学法文学部 教授 秋山 英治

- 受講資格:原則として、愛媛県内に在住、もしくは勤務の方
- 受講料:無料
- お申込み・お問い合わせ先は、愛媛県生涯学習センターまで
電話:(089)963-2111 Eメール:top@i-manabi.jp
ホームページ:<https://www.i-manabi.jp/>

※送付資料3枚(本紙を含む)

本件に関する問い合わせ先
教育学生支援部 教育支援課
教職教育チーム
TEL:089-927-8103
Mail:manabi@stu.ehime-u.ac.jp



学ぶ喜び、知る楽しさ。 第48回放送県民大学

**受講
無料**

現代教養講座

受講者募集中

愛媛大学をはじめとした先生方によるスクーリングと、その関連映像をご覧いただき、知識を深めていただきます。様々な分野に特化された先生方のお話を聞くことができます。

中予会場
松山市



愛媛県 生涯学習センター

- 開講時間／10:00～12:00
- 定員／各100名

10/19 日

学び舎
えひめ

講義内容 知られざるジョージア
～ワイン・金属・シルクロードの交差点～

講師 愛媛大学法文学部准教授 **笹田 朋孝**

11/9 日

学び舎
えひめ

講義内容 ルーマニアの歴史と文化
ー日本とルーマニアの交流の意義ー

講師 松山しなのめ認定こども園 保育教諭
チェアウシュ・ジョルジェツタ

12/14 日

講義内容 放送100年の歴史と功罪

講師 愛媛大学元客員教授 **木藤 隆雄**

東予会場
新居浜市



愛媛県 総合科学博物館

- 開講時間／13:30～15:30
- 定員／各60名

9/7 日

講義内容 記紀で読む日本神話

講師 元愛媛大学国際連携推進機構
非常勤講師 **村尾 恵一**

10/26 日

学び舎
えひめ

講義内容 異国で学びそして思ったこと
ー韓国と日本の交流を通してー

講師 松山市包括支援センター湯築・桑原・道後
社会福祉士 **金（岩城） 恩恵**

12/7 日

講義内容 「満洲国」の日本語教育
ー抵抗する教師たちー

講師 愛媛大学国際連携推進機構
准教授 **伊月 知子**

南予会場
宇和島市



宇和島市立 コスモスホール三間

- 開講時間／13:30～15:30
- 定員／各40名

9/27 土

学び舎
えひめ

講義内容 外国人とともに暮らしやすい
社会にしていけるために

講師 東京大学名誉教授 **向井 留実子**

10/4 土

学び舎
えひめ

講義内容 現代中国社会と現状について

講師 愛媛大学国際連携推進機構教授 **陳 捷**

11/8 土

講義内容 鶴の鳴く夜は恐ろしい？
ー怪鳥・鶴とはー

講師 愛媛大学法文学部教授 **秋山 英治**

※やむを得ず日程・講師の変更や講座の中止を行う場合がございます。最新情報はホームページ (<https://www.i-manabi.jp/>) をご確認ください。

主催：愛媛県生涯学習センター、愛媛大学

後援：愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

愛媛県 生涯学習センター

中予会場
松山市



ささだ ともたか
笹田 朋孝

広島県出身。愛媛大学法文学部准教授。専攻は考古学。東北アジア地域の製鉄・幕末日本の近代産業化(反射炉・海軍所)など、人と鉄の関わりを研究。

ジョージア(旧グルジア)は、黒海とカスピ海にはさまれたコーカサス地方に位置し、古くから東西文明が交差する地として栄えてきました。本講座では、同地における青銅器時代から中世に至る考古学的成果をもとに、世界最古級のワイン醸造文化や金属器生産の実態、さらにはシルクロード交易との関わりを紹介し、「文明の十字路」としてのジョージアの歴史的意義を一緒に考えたいと思います。

愛媛県 総合科学博物館

東予会場
新居浜市



むら おけい いち
村尾 恵一

千葉県出身。元愛媛大学国際連携推進機構非常勤講師。元愛媛大学教育・学生支援機構非常勤講師。専攻は日本語学。敬語や人称代名詞を研究。

記紀とは『古事記』と『日本書紀』のことで、奈良時代に書かれた書物です。それぞれ天地開闢からの神話や伝説などが綴られています。「イザナギとイザナミの国造り」や「ヤマタノオロチ討伐」「海幸彦と山幸彦」など、昔話でお馴染みのお話もあります。実は『古事記』と『日本書紀』では同じお話でも内容が異なっていたり、両方には載っていないことがあります。そのような両書を読み比べ、日本神話に触れてみませんか。

宇和島市立 コスモスホール三間

南予会場
宇和島市



むか い る み こ
向井 留実子

ルーツは愛媛県。愛媛大学非常勤講師。えひめ日本語教育人材ネットワーク代表理事。愛媛県地域日本語教育体制づくり事業総括コーディネーター。専門は日本語教育。

海外からの観光客の増加で、日常的に外国人を見かけるようになりました。一方で、日本の産業基盤を支える長期滞在の就労外国人も急増しています。このような外国人は、観光客とは異なり、働いているために普段あまり見かけることはありません。しかし、私たちが今の生活を維持するためには、陰の存在になっている外国人のことを知り、ともに日本社会を作っていくという意識を持つことが必要です。この講座では、長期滞在外国人の現状を紹介し、誰にとっても暮らしやすい社会にするためには何が必要なのかを考えます。



チェアウシュ・
ジョルジュツタ

ルーマニア出身。松山しのめ認定こども園保育教諭。松山東雲女子大学心理子ども学科にて、日本とルーマニアの幼児教育の違いについて研究した。

私が生まれ育ったルーマニアについて、歴史や文化を紹介します。ルーマニアの独立までの流れや、「黄金期」と呼ばれたチャウシェスク時代。また、「ドラキュラ」が国を守る君主として実在していた話。そしてこれらの時代を経て、現在のルーマニア人の暮らしを、私の経験をもとにご紹介します。また専門の保育についても、日本とルーマニアの違いや子どもたちの未来について、みなさんと考える機会にしたいと思います。



きむ いわき うね
金(岩城) 恩恵

韓国全羅南道麗水市出身。韓国順天国立大学日本語日本文学科卒業。松山市地域包括支援センター湯築・桑原・道後で社会福祉士として勤務中。

大学2年生の時に、韓国からの交換留学生として初めて日本に足を踏み入れてから、もう26年になりました。自分の国の韓国より、日本の方が地面に足をしっかり付けて生活できているような不思議な感覚で毎日過ごしております。日本に来て不思議に思ったこと、面白いな~と思ったこと、何でこんなに国民性が違うんだろうと思ったことなど、日本での生活で自分が感じたことや、その中から学んだことを皆さんと分かち合いたいと思います。



ちん しやう
陳 捷

中国の長春市出身。前国際教育支援センター長。現在、国際連携推進機構教授。専攻は中国経済学、金融史学。主に近代中国における金融機関と民族商工業関係について研究。

世界の中では、今日、中国の存在感が一段と増してきた。大国化するこの中国に対して、隣国である日本として、中国の発展の現状及びその発展の原動力を歴史的に正確に把握し、将来、中国がどのような方向を迎えに行くか、予測しなければならぬ。隣国の日本はどう向き合っていくかを検討することがますます直面している。近年来、在日中国人の増加に伴って、今日の中国人の考え方、行動様式の形成要因を究明してから、相互的に理解することができる。



き とう たか お
木藤 隆雄

愛媛県出身。愛媛大学元客員教授。ニッポン放送アナウンサーを経てフリーに。フジテレビ、テレビ東京等に出演後、静岡と愛媛でキャスターをつとめる。

私が子供の頃、一家団らの中心はラジオでした。「とんち教室」「三つの歌」等を家族で楽しんだものです。やがてテレビ時代になり、リアルタイムでお茶の間に様々な映像が届けました。一方、ラジオは深夜放送という新たな文化を作り、静かな夜が楽しい夜に変わりました。今年は放送100年。その歴史を振り返るとともに、最近話題になっている「テレビの負の部分」についても、率直にお話ししてみたいと思っています。



い づ き と も こ
伊月 知子

大阪府出身。愛媛大学国際連携推進機構准教授。専門は日本語教育と植民地教育。留学生の日本語授業を担当する傍ら、中国東北地方の戦時下教育について研究。

日本の傀儡政権「満洲国」では植民地政策として日本語教育が行われ、そのための審定教科書が作られていました。教科書からは日本が「支那」の子どもたちに何を教えるようとしていたかを見ることができます。また、それよりも前に満鉄が始めた日本語教育では、現地で奮闘した日本人教師たちがいました。彼らがどのように教育と政策の間で当局と対峙していくことになったか、その抵抗の足跡をたどります。



あき やま え い じ
秋山 英治

愛媛県出身。愛媛大学法文学部教授。専攻は日本語学。特に愛媛県を中心に、中四国地方の方言アクセントを研究。日本語母語者向けの日本語の教育についても研究。

皆さんは、「鶴(めえ)」と聞くと、どのような姿をイメージするでしょうか。顔はサル、胴体はタヌキ、手足はトラ、尾はヘビの怪鳥(妖怪)を思い浮かべた人が多いのではないかと思います。横溝正史原作の映画「悪霊島」のキャッチフレーズ「鶴の鳴く夜は恐ろしい」でも知られる鶴ですが、本当に恐ろしい怪鳥なのでしょうか。『平家物語』の鶴退治の話、愛媛に残る鶴伝説などにも触れながら、鶴という怪鳥(?)について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

○受講資格／原則として、県内に在住、もしくは勤務の方。

○受講料／無料

○申込方法／受講を希望される方は、住所・氏名・年齢・電話番号・希望会場をご記入のうえ、窓口または郵送、FAX、メールでお申込みください。

※先着順(定員になり次第、受付を終了いたします)

※定員に満たない講座は、開講当日まで受け付けますので、お問い合わせください。

※Webからのお申込みをご希望の方は生涯学習センターホームページ(<https://www.i-manabi.jp/>)、

『令和7年度コミュニティ・カレッジ』の申込みフォームよりお申込みください。

○受講の決定／受講できる場合は、特にご連絡いたしません。講座当日会場へお越しください。

会 場	お申込み・お問い合わせ先
愛媛県生涯学習センター (松山市) 所在地: 愛媛県松山市上野町甲650番地	愛媛県生涯学習センター 〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650番地 TEL(089)963-2111 FAX(089)963-4526 Eメール top@i-manabi.jp ホームページ https://www.i-manabi.jp/
愛媛県総合科学博物館 (新居浜市) 所在地: 愛媛県新居浜市大生院2133-2	
宇和島市立コスモスホール三間 (宇和島市) 所在地: 愛媛県宇和島市三間町迫目138	